

令和時代	平成時代	昭和時代	大正時代	明治時代	江戸時代
2025年 2024年 2020年 2019年 2018年 2016年 2015年 2012年 2010年 2009年 2008年 2005年 2004年 2000年 1996年 1990年 1985年 1983年 1971年 1965年 1961年	2019年 2018年 2016年 2015年 2012年 2010年 2009年 2008年 2005年 2004年 2000年 1996年 1990年 1985年 1983年 1971年 1965年 1961年	1955年 1953年 1951年 1932年 1929年 1928年 1923年 1915年 1922年 1922年 1923年 1928年 1929年 1932年 1951年 1953年 1955年	1903年 1896年 1888年 1876年 1873年 1871年 1868年 1868年 1871年 1873年 1876年 1888年 1896年 1903年	1720年 1728年 1732年 1748年 1754年 1782年 1804年 1805年 1812年 1853年 1868年 1871年 1873年 1876年 1888年 1896年 1903年	1720年 1728年 1732年 1748年 1754年 1782年 1804年 1805年 1812年 1853年 1868年 1871年 1873年 1876年 1888年 1896年 1903年

大水害が起こり『くえやまものかたり壊山物語』にて当時の詳細な状況が記される

農民騒動起こる。久留米藩における最初の本格的な百姓一揆

享保の飢饉が起こる。久留米藩領内でも1万1千名以上の死者が出る

吉井町大火に見舞われる

宝暦一揆が起こり一揆勢が若宮八幡宮に集結

田箆諏訪神社にて粥占いの記録が始まる。現在県指定無形民俗文化財

一の瀬焼が盛んになる

若宮八幡宮宮司である安元大炊が月岡古墳を発掘

伊能忠敬が浮羽の測量を行う

矢野一貞が『筑後將士軍談』を記しその中に重定古墳の壁画が記録される

浮羽出身の新撰組隊士・篠原泰之進が戊辰戦争で活躍

廃藩置県により久留米県になる

浮羽郡内に小学校の開設が始まる

合併が行われ福岡県になる

吉井町に裁判所を設置

生葉郡・竹野郡が合併し浮羽郡になる

菊竹六鼓が福岡日日新聞（現在の西日本新聞）に入社

筑後軌道の前身である筑後馬車鉄道創立

筑後軌道完成

楠名重定古墳・塚花塚古墳が国指定史跡になる

日本初の農民劇団・嫩葉会が結成され2年後野外円形劇場が完成

日岡古墳が国指定史跡になる

国鉄久大本線が開通し筑後軌道が廃止

五・一五事件が起こり菊竹六鼓が軍を戒める記事を日本で唯一発表

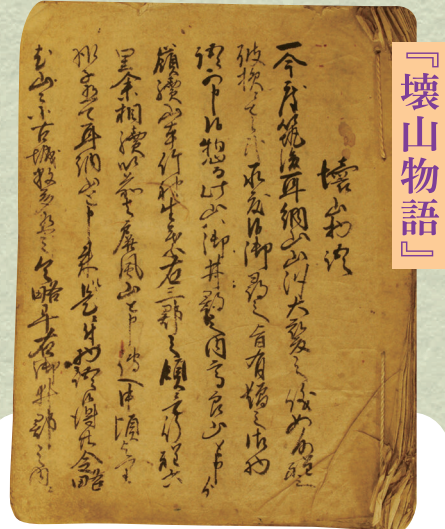
浮羽町発足

珍敷塚古墳が国指定史跡になる

筑後川大洪水が起こる。復興のために塚堂古墳の後円部が大きく削られる

吉井町発足

筑後川温泉開発株式会社が筑後川温泉を開発



梅雨末期に3日間降り続いた豪雨により起こった享保5年の大水害は、耳納連山で大規模な土石流が発生し、特に安富村をはじめとした複数の村々が壊滅するなど甚大な被害をもたらしました。『壊山物語』には当時の悲惨な状況が生々しく伝えられています。



吉井の町並み



宝暦一揆

宝暦一揆は、藩の圧政に苦しむ人々が起こした全国有数規模の大一揆。吉井町若宮八幡宮に生葉郡と竹野郡から2万人に及ぶ一揆勢が集結しましたが、これに激怒した有馬藩主が指導者の厳罰と再発防止を厳命、死罪37名をはじめ追放、過料など有馬藩史上類を見ない大量処罰という悲劇的な結末を迎えました。

平成8年に福岡県初の重要伝統的建造物群保存地区に選定された吉井町の白壁の町並み。城下町久留米と天領日田を結ぶ豊後街道の宿駅として栄え、茅葺きから瓦葺きの白壁土蔵造りに移行したのは明治維新後。現在の国道210号線には、筑後軌道が開通し、小型の蒸気機関車が白壁の町並みの中を走っていました。



新川田箆の風景

平成24年に重要伝統的建造物群保存地区として選定された新川田箆地区には今でも茅葺屋根の家屋が残っています。現在見られる山村集落の風景が形成されたのは江戸時代以降といわれており、棚田や竹樋など当時から続く水利施設を今でも見ることができます。



うきは市誕生

平成17年3月20日、浮羽町と吉井町が合併して「うきは市」が誕生しました。福岡県内26番目の市で、平成の大合併としては県内4番目の合併となりました。初代うきは市長には、怡土康男氏が就任し、当時の人口は32,902人、総世帯数は9,876世帯でした。



第2代うきは市長高木典雄氏は、平成24年7月に就任してすぐに、九州北部豪雨災害からの復旧・復興に取り組みました。道の駅うきはのプロモーション活動や、工業団地の造成と企業誘致、財政運営の見直し、ルリー口福岡の発足等うきは市の発展に尽力し、令和6年7月に退任しました。



令和

※敬称略

平成

昭和

大正

明治

江戸